



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 新東工業株式会社

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 春田 則之

定時株主総会開催予定日 平成25年6月26日

配当支払開始予定日

TEL 052-582-9211

平成25年6月11日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期 | 85,200 | 2.6 | 3,813 | △23.2 | 4,996 | △11.1 | 5,271 | 85.4 |
| 24年3月期 | 83,073 | 11.6 | 4,962 | 18.0 | 5,620 | 30.6 | 2,843 | 22.8 |

(注) 包括利益 25年3月期 9,913百万円 (260.4%) 24年3月期 2,750百万円 (534.7%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 25年3月期 | 97.10 | — | 7.5 | 4.5 | 4.5 |
| 24年3月期 | 52.37 | — | 4.4 | 5.5 | 6.0 |

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 478百万円 24年3月期 248百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期 | 116,358 | 76,648 | 63.8 | 1,368.38 |
| 24年3月期 | 105,077 | 67,385 | 62.4 | 1,208.47 |

(参考) 自己資本 25年3月期 74,293百万円 24年3月期 65,612百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 25年3月期 | 4,641 | △4,508 | 1,232 | 18,856 |
| 24年3月期 | △21 | △7,008 | △292 | 16,744 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 24年3月期 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 | 651 | 22.9 | 1.0 |
| 25年3月期 | — | 6.00 | — | 7.00 | 13.00 | 705 | 13.4 | 1.0 |
| 26年3月期(予想) | — | 6.50 | — | 6.50 | 13.00 | | 28.2 | |

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 42,000 | 1.4 | 1,600 | △15.9 | 1,900 | △6.1 | 1,100 | 14.5 | 20.26 |
| 通期 | 85,500 | 0.4 | 3,900 | 2.3 | 4,500 | △9.9 | 2,500 | △52.6 | 46.05 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) シンターバレットマニュファクチャリング、除外 1社 (社名)
プライベートリミテッド

(注)詳細は、添付資料16ページ「4. 連結財務諸表 (5)連結財務諸表に関する注記事項(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第14条の7に該当するものであります。詳細は、添付資料16ページ「4. 連結財務諸表 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| 25年3月期 | 56,554,009 株 | 24年3月期 | 56,554,009 株 |
| 25年3月期 | 2,261,207 株 | 24年3月期 | 2,260,277 株 |
| 25年3月期 | 54,293,199 株 | 24年3月期 | 54,294,497 株 |

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| (4) 事業等のリスク | 4 |
| 2. 企業集団の状況 | 5 |
| 3. 経営方針 | 6 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 6 |
| (2) 目標とする経営指標 | 6 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 | 6 |
| 4. 連結財務諸表 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| 連結損益計算書 | 9 |
| 連結包括利益計算書 | 11 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 16 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 16 |
| (会計方針の変更) | 16 |
| (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) | 16 |
| (セグメント情報等) | 16 |
| (受注の状況) | 19 |
| (1株当たり情報) | 20 |
| (重要な後発事象) | 20 |
| 5. その他 | 21 |
| 役員の異動 | 21 |

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当期における経済状況は、海外では、米国経済において緩やかな回復傾向が続いたものの、欧州での債務・金融問題に加え、中国をはじめ新興国経済の成長鈍化などによって、厳しい状況が続きました。国内は、昨年末からの円高是正や株価の上昇などで景気回復の兆しが見えましたが、世界経済の減速の影響を受けて、総じて弱含みで推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、欧州や中国市場で需要減がありましたが、タイ、インドネシア、インドでの新規の自動車関連の鋳造設備に加えて、北米市場でのシェールガス採掘向けサンドコーティング設備が堅調に推移いたしました。また、国内では、一部に自動車の生産調整の影響を受けましたものの、消耗品である投射材やメンテナンス部品などアフターマーケットでの需要によって下支えされました。

こうした情勢の下、当期の受注高は83,388百万円（前連結会計年度比1.1%減）、売上高は85,200百万円（同2.6%増）、受注残高は25,160百万円（同6.7%減）となりました。

収益面につきましては、原価率の上昇と経費増の影響があり、営業利益は3,813百万円（同23.2%減）となりました。経常利益は4,996百万円（同11.1%減）、当期純利益は、中国子会社の移転に伴う土地使用権の売却益3,161百万円の特別利益の計上があり、5,271百万円（同85.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当期より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔鋳造分野〕

欧州市場での鋳造設備は低調でしたが、中国市場およびインドネシアなどアセアン市場で自動車部品向け鋳造装置および自動注湯装置が堅調に推移したことに加え、北米市場でのシェールガス採掘向けサンドコーティング設備が売上に貢献して、売上高は33,652万円（同22.7%増）となりました。

営業利益につきましては、厳しい価格競争によって原価率が悪化して、2,267百万円（同16.7%減）となりました。

〔表面処理分野〕

表面処理装置は、自動車部品向けにショットピーニングマシンの需要が国内外ともに堅調に推移いたしました。造船業界向け大型表面処理設備が一巡するとともに、太陽光パネル向け微細加工装置が低調でした。装置に使用する投射材は、海外需要は堅調でしたが、国内での自動車関連業界の生産調整の影響を受けて、僅かながら減少いたしました。分野全体の売上高は32,755百万円（同4.2%減）となりました。

営業利益は、売上減の影響があり、3,093百万円（同17.5%減）となりました。

〔環境分野〕

復興需要を受けたセメント業界向けへの大型集塵装置および工作機械向け小型集塵装置が堅調に推移いたしました。コンバーティング業界向けVOCガス浄化装置が低迷して、売上高は8,621百万円（同9.1%減）となりました。

営業利益は、メンテナンス部品の拡販に加え、原価改善努力によって、90百万円（前連結会計年度は9百万円の損失）と黒字転換いたしました。

〔搬送分野〕

駆動コンベア、グラビティコンベアの需要はともに縮小傾向でしたが、シザーリフトが福祉・医療関連向けに好調に推移するとともに、北米市場での自動車部品向け搬送装置が伸長して、売上高は5,040百万円（前連結会計年度比5.7%増）となりました。

営業利益は、売上増により144百万円（同67.7%増）となりました。

〔特機分野〕

自動車部品生産設備向けサーボシリンダーが売上に寄与いたしました。液晶パネル向けハンドリングロボットおよびフラットパネルディスプレイ向け精密計測機器がともに低調に推移し、当分野の売上高は6,111百万円（同25.0%減）となりました。

営業損益は、売上ボリュームの不足により、288百万円（前連結会計年度は166百万円の損失）の損失となりました。

②次期の見通し

今後の経済見通しは、海外においては、欧州で停滞感を払拭できない状況が続く一方で、米国経済の緩やかな回復傾向と、下振れリスクはあるものの中国やアセアンなど新興国の成長が持続するものと予想されます。国内においては、円安による輸出環境の改善や経済対策の効果を背景に、景気を持ち直しが期待されます。

当社グループの事業環境は、主要な需要先であります自動車関連業界の大型の設備投資が、アセアン諸国をはじめとする新興国にシフトする動きが加速するとともに、国内では、輸出の回復などによる設備稼働率の向上を受けて、メンテナンス部品や投射材などのアフターマーケットでの需要が見込まれます。

こうした状況の中、成長の源泉が海外、とりわけ新興国市場にシフトしていくとの認識のもと、「アジア市場の攻略」に注力して、戦略商品の現地化を推進するとともに、現地拠点と協働してお客様へのサポート体制を構築し、アフターサービス事業を強化いたします。加えて、市場と商品の関係性を重視し、既存商品群にとらわれない違った角度からの新商品開発を実行して早期に市場投入いたします。また、部品の削減・共通化やリードタイムの短縮によって原価低減に努めるとともに、営業マンのスキルアップなど営業力の強化によって受注収益率の向上に注力し、売上の拡大と収益の確保に努めてまいります。

かかる状況を踏まえて、次期の業績予想を次のとおりといたします。

| | |
|---------|-----------|
| 連結売上高 | 85,500百万円 |
| 連結営業利益 | 3,900百万円 |
| 連結経常利益 | 4,500百万円 |
| 連結当期純利益 | 2,500百万円 |

(注) 次期の業績予想につきましては、当期の状況及び現時点で当社が入手可能な情報によって判断できる景気、需要動向等に基づいており、今後発生する事業環境の変化によっては、これと異なる業績結果となり得ることをご理解願います。

(2) 財政状態に関する分析

①当期末の資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、固定資産と有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ11,280百万円増加し、116,358百万円となりました。

負債合計は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,017百万円増加し、39,710百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べて9,262百万円増加の76,648百万円となりました。

この結果、当期末における自己資本比率は63.8%（前期末62.4%）、1株当たり純資産は1,368.38円となり、前連結会計年度末に比べ159.91円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による4,641百万円の増加、投資活動による4,508百万円の減少及び財務活動による1,232百万円の増加等の結果、前連結会計年度末に比べ2,111百万円増加して、18,856百万円となりました。

営業活動に伴う資金は、税金等調整前当期純利益の増加や売上債権の減少等により、4,641百万円の増加となりました。

投資活動に伴う資金は、設備投資に伴う有形固定資産の取得による支出等により、4,508百万円の減少となりました。

財務活動に伴う資金は、長期借入れによる収入等により、1,232百万円の増加となりました。

(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益分配は重要な経営課題の一つとの認識のもと、中長期での財務体質と経営基盤の強化に配慮しつつ、一定レベルでの安定かつ継続的な配当に加え、連結業績との連動性を考慮することを基本として、財政状態、利益水準、配当性向等を総合的に勘案して実施してまいります。

内部留保金は、中長期的視野に立ったグローバルな事業展開及び成長が期待できる分野への優先的な投資と併せて、経営体質強化、株主還元のために有効活用してまいり所存であります。

当期の利益配当につきましては、本年2月7日付けにて公表いたしましたとおり、期末配当金を1株当たり7円とし、すでに実施済みの中間配当金1株当たり6円と合わせて、年間配当金を前期と比べ1円増配して1株当たり13円を予定しております。なお、期末配当金は、定款の規定に基づいて、本年5月29日開催の取締役会の決議により正式決定する予定であります。

また、次期の利益配当につきましては、業績見通しに不透明要因があるものの、1株当たり中間配当金6.5円、1株当たり期末配当金6.5円の年間配当金1株当たり13円を予想しております。

(4) 事業等のリスク

最近の有価証券報告書（平成24年6月26日提出）における「事業等のリスク」から重要な変更がないため、開示を省略しております。

2. 企業集団の状況

当企業集団は、当社及び子会社42社、関連会社5社により構成され、鋳造、表面処理、環境、搬送及び特機関連の設備装置の製造販売を主な内容として事業活動を展開しております。

当社グループの事業の区分及び形態は、次のとおりであります。なお、事業区分はセグメント情報の区分と同一であります。

| | | | | | | |
|--------------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| 事業区分 事業形態 | 鋳 造 | 表面処理 | 環 境 | 搬 送 | 特 機 | そ の 他 |
|--------------|-----|------|-----|-----|-----|-------|

新 東 工 業 株 式 会 社



| | | |
|-----|---|---|
| 国 | 製 造 販 売 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 藤 和 電 気 株 式 会 社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○新東ブイセラッ クス株式会社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 株 式 会 社 メ イ キ コ ウ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○新東エンジニア リング株式会社</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○新東ブイセラッ クス株式会社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 新東情報シス テム株式会社</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;">○新東エスプレシ ジョン株式会社</div> |
| | 販 売 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">○ 株 式 会 社 シ ー エ フ エ ス</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">○ ダ イ ト ー 機 販 株 式 会 社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: right; margin-top: 5px;">○ 東 寿 興 産 株 式 会 社</div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">他 子 会 社 1 2 社</p> |
| 海 外 | 欧 州 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40%;">○ハインリッヒ ワグナーシントー マシーネンファブ リークゲーエムペー ハー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40%;">△ケミッシュテルミッ シエプロツェステク ニークゲーエムペー ハー</div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">他 子 会 社 1 社 関 連 会 社 1 社</p> |
| | 北 中 米 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30%;">○ロバーツシントーコーポレーション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30%;">○シントーアメリカ インコーポレーテ ッド</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">○サンドモールド システムズインコー ポレーテッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">○フィニッシングアツ シエイツインコーポ レーテッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">○ナショナル ピーニングインコー ポレーテッド</div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">他 子 会 社 2 社 関 連 会 社 1 社</p> |
| | 製 造 販 売 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○ 青 島 新 東 機 械 有 限 公 司</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○ 台 湾 新 東 機 械 股 份 有 限 公 司</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○青島百利達鋼丸 有限公司</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○浙江新東鋼丸 有限公司</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○台湾百利達 股份有限公司</div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">他 子 会 社 4 社</p> |
| | ア ジ ア | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○ タイ新東工業コーポレーテッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○シントーバラストマニファクチャリング プライベートリミテッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">△サイアムプレター コーポレーテッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">△ 韓国新東工業株式会社</div> |
| 南 米 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ シントーブラジルプロダクトスリミターダ</div> | |

- (注) 1. 事業区分「その他」は、設計（新東エンジニアリング株式会社）、情報関連（新東情報システム株式会社）、福利厚生（東寿興産株式会社）、米国子会社の管理・運営（シントーアメリカインコーポレーテッド）などであります。
2. ○ は子会社、△ は関連会社を示しております。
3. 平成24年9月13日付けでピーティーシントーインドネシアを設立しております。
4. 平成24年11月21日付けでシントーバラストマニファクチャリングプライベートリミテッドを設立しております。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

【SINTO WAY】

当社グループは、**Heart**（信頼される技術を通じて、人間としての豊かさと成果を）を経営理念として掲げ、モノづくりの新たな価値を創造し、世界のお客様と共に成果と喜びを分かち合うことを**新東の使命**とし、グローバルに関係する全ての人との絆を深め、一緒になって新しい解決策を提供し続けることを目指します。

こうした基本方針のもと、世界のお客様と感動の共創を実現することを**長期ビジョン**におき、グローバル市場において持続的な成長と発展を図り、連結企業価値の向上及び株主価値重視の姿勢を堅持してまいります。

(2) 目標とする経営指標

事業環境の急激な変化により、先行きの見通しが極めて不透明であります。新たに策定した平成24年4月から同27年3月の3ヵ年の**中期経営計画 GCS5 「Let's Go Team Sinto」**では、「お客様志向」を重視し、お客様数の右肩上がりを常に目指します。

日本はもとよりグローバル市場において新しいお客様を獲得し、継続してご満足していただくため、下記の3つを数値目標といたします。

| | |
|----------------------|----------|
| ①新規のお客様数 | 5%アップ |
| ②カバー率（継続発注いただけるお客様率） | 5ポイントアップ |
| ③営業利益率 | 8%以上 |

この3つの数値目標を達成するため、鑄造、表面処理、環境、特機、その他のグローバル事業軸と、日本、北米、南米、欧州、アジア地域、中国・台湾、インドの地域軸に細分化して、事業展開いたします。

(3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループは、**ONE GLOBAL SINTO**として、3年間の目標である当社グループ共通の経営指標の達成のため、次の4項目に重点を置いた経営を推進するとともに、世界中で展開しているお客様に新東ブランドの価値を実感していただけることを目指して事業運営を進化させてまいります。

①市場目線でのものづくり

グローバルマーケットでお客様に満足いただくため、グローバルで認められる技術レベルを目指すとともに、ローカルのメーカーと競合できるコスト競争力を高めることを追及いたします。

②アフターサービスからの事業展開

お客様に納入した設備の安定稼働のため、グローバル拠点で共通部品のストック化を推し進めるとともに、部品の現地調達化を加速させることにより、迅速なアフターサービスができる体制づくりを目指します。

③スキルを軸とした人づくり

グローバルに納入されている設備の現地でのアフターサービス体制を強化するために、当社グループの全技能者に共通の評価制度を導入して、納入した設備の点検・調整ができる人材作りを目指します。

④連結経営の仕組みづくり

基幹システムの再構築を通じて、決算業務の早期化や業務の効率化を推進するとともに、新東ブランドの向上を目指した広報の充実やコーポレートガバナンス強化、環境対応等のCSR活動に注力して、ステークホルダーから一層信頼される会社に進化いたします。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (平成25年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,922 | 17,150 |
| 受取手形及び売掛金 | 31,481 | 29,090 |
| 有価証券 | 4,875 | 7,320 |
| 製品 | 1,825 | 2,976 |
| 仕掛品 | 3,731 | 4,026 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,811 | 2,951 |
| 繰延税金資産 | 1,199 | 1,216 |
| その他 | 1,474 | 1,344 |
| 貸倒引当金 | △316 | △179 |
| 流動資産合計 | 62,005 | 65,897 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 18,234 | 21,274 |
| 減価償却累計額 | △10,723 | △11,111 |
| 建物及び構築物（純額） | 7,510 | 10,162 |
| 機械装置及び運搬具 | 18,884 | 22,006 |
| 減価償却累計額 | △15,161 | △16,103 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,723 | 5,902 |
| 土地 | 5,163 | 5,224 |
| リース資産 | 373 | 507 |
| 減価償却累計額 | △158 | △227 |
| リース資産（純額） | 214 | 280 |
| 建設仮勘定 | 2,776 | 354 |
| その他 | 3,649 | 3,805 |
| 減価償却累計額 | △2,938 | △3,030 |
| その他（純額） | 711 | 775 |
| 有形固定資産合計 | 20,099 | 22,698 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 576 | 581 |
| リース資産 | 95 | 130 |
| その他 | 1,454 | 1,655 |
| 無形固定資産合計 | 2,126 | 2,366 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 16,586 | 21,286 |
| 長期貸付金 | 115 | 77 |
| 繰延税金資産 | 351 | 234 |
| その他 | 3,823 | 3,830 |
| 貸倒引当金 | △31 | △34 |
| 投資その他の資産合計 | 20,846 | 25,395 |
| 固定資産合計 | 43,072 | 50,460 |
| 資産合計 | 105,077 | 116,358 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (平成25年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,722 | 13,425 |
| 1年内償還予定の社債 | 2,632 | 232 |
| 短期借入金 | 2,750 | 1,761 |
| リース債務 | 134 | 152 |
| 未払法人税等 | 1,104 | 475 |
| 未払消費税等 | 221 | 99 |
| 繰延税金負債 | 89 | 121 |
| 前受金 | 3,115 | 4,077 |
| 賞与引当金 | 1,661 | 1,711 |
| 役員賞与引当金 | 149 | 111 |
| プラント保証引当金 | 304 | 316 |
| 受注損失引当金 | 192 | 118 |
| その他 | 3,394 | 2,914 |
| 流動負債合計 | 30,474 | 25,518 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 431 | 198 |
| 長期借入金 | 1,365 | 7,114 |
| リース債務 | 184 | 276 |
| 繰延税金負債 | 1,853 | 3,483 |
| 退職給付引当金 | 2,519 | 2,224 |
| 役員退職慰労引当金 | 188 | 206 |
| 環境安全対策引当金 | 67 | 67 |
| 資産除去債務 | 114 | 114 |
| その他 | 493 | 506 |
| 固定負債合計 | 7,217 | 14,192 |
| 負債合計 | 37,692 | 39,710 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,752 | 5,752 |
| 資本剰余金 | 6,269 | 6,269 |
| 利益剰余金 | 55,580 | 60,200 |
| 自己株式 | △1,305 | △1,306 |
| 株主資本合計 | 66,296 | 70,916 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,586 | 5,068 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △3,271 | △1,691 |
| その他の包括利益累計額合計 | △684 | 3,376 |
| 少数株主持分 | 1,772 | 2,355 |
| 純資産合計 | 67,385 | 76,648 |
| 負債純資産合計 | 105,077 | 116,358 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 83,073 | 85,200 |
| 売上原価 | 59,148 | 61,488 |
| 売上総利益 | 23,925 | 23,711 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び荷造費 | 2,057 | 1,863 |
| 給料報酬 | 7,487 | 8,022 |
| 賞与引当金繰入額 | 657 | 738 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 119 | 89 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 32 | 38 |
| のれん償却額 | 21 | 66 |
| 貸倒引当金繰入額 | 137 | — |
| その他 | 8,449 | 9,079 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 18,963 | 19,898 |
| 営業利益 | 4,962 | 3,813 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 195 | 114 |
| 受取配当金 | 236 | 259 |
| 為替差益 | — | 257 |
| 負ののれん償却額 | 3 | 4 |
| 持分法による投資利益 | 248 | 478 |
| その他 | 426 | 458 |
| 営業外収益合計 | 1,111 | 1,573 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 106 | 153 |
| 為替差損 | 118 | — |
| 投資事業組合運用損 | 59 | 60 |
| その他 | 169 | 175 |
| 営業外費用合計 | 453 | 390 |
| 経常利益 | 5,620 | 4,996 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 23 | 8 |
| 土地使用権売却益 | — | 3,161 |
| 特別利益合計 | 23 | 3,170 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 12 | 2 |
| 固定資産廃却損 | 121 | 39 |
| 投資有価証券評価損 | 75 | 4 |
| 投資有価証券償還損 | 42 | — |
| 減損損失 | 24 | 10 |
| 会員権売却損 | 4 | — |
| 会員権評価損 | 8 | — |
| 特別損失合計 | 289 | 56 |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,354 | 8,110 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,590 | 1,548 |
| 法人税等調整額 | 701 | 844 |
| 法人税等合計 | 2,292 | 2,392 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 3,061 | 5,717 |
| 少数株主利益 | 218 | 446 |
| 当期純利益 | 2,843 | 5,271 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 3,061 | 5,717 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 503 | 2,482 |
| 繰延ヘッジ損益 | △4 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △718 | 1,437 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △91 | 275 |
| その他の包括利益合計 | △310 | 4,195 |
| 包括利益 | 2,750 | 9,913 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,588 | 9,332 |
| 少数株主に係る包括利益 | 162 | 580 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|---------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 5,752 | 5,752 |
| 当期末残高 | 5,752 | 5,752 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 6,269 | 6,269 |
| 当期末残高 | 6,269 | 6,269 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 53,443 | 55,580 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △705 | △651 |
| 当期純利益 | 2,843 | 5,271 |
| 当期変動額合計 | 2,137 | 4,620 |
| 当期末残高 | 55,580 | 60,200 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △1,304 | △1,305 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 当期変動額合計 | △1 | △0 |
| 当期末残高 | △1,305 | △1,306 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 64,160 | 66,296 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △705 | △651 |
| 当期純利益 | 2,843 | 5,271 |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 当期変動額合計 | 2,136 | 4,619 |
| 当期末残高 | 66,296 | 70,916 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 2,082 | 2,586 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 504 | 2,481 |
| 当期変動額合計 | 504 | 2,481 |
| 当期末残高 | 2,586 | 5,068 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期首残高 | 4 | — |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4 | △0 |
| 当期変動額合計 | △4 | △0 |
| 当期末残高 | — | △0 |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期首残高 | △2,516 | △3,271 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △754 | 1,579 |
| 当期変動額合計 | △754 | 1,579 |
| 当期末残高 | △3,271 | △1,691 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △429 | △684 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △254 | 4,061 |
| 当期変動額合計 | △254 | 4,061 |
| 当期末残高 | △684 | 3,376 |
| 少数株主持分 | | |
| 当期首残高 | 1,651 | 1,772 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 121 | 582 |
| 当期変動額合計 | 121 | 582 |
| 当期末残高 | 1,772 | 2,355 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 65,382 | 67,385 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △705 | △651 |
| 当期純利益 | 2,843 | 5,271 |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △133 | 4,643 |
| 当期変動額合計 | 2,002 | 9,262 |
| 当期末残高 | 67,385 | 76,648 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,354 | 8,110 |
| 減価償却費 | 1,806 | 2,190 |
| 減損損失 | 24 | 10 |
| のれん償却額（純額） | 17 | 61 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 188 | 26 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △11 | △47 |
| 受注損失引当金の増減額（△は減少） | 169 | △73 |
| プラント保証引当金の増減額（△は減少） | △233 | △0 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 10 | △149 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △153 | △314 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 32 | 18 |
| 受取利息及び受取配当金 | △432 | △374 |
| 支払利息 | 106 | 153 |
| 為替差損益（△は益） | 185 | △239 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △248 | △478 |
| 有形固定資産処分損益（△は益） | 110 | 32 |
| 無形固定資産売却益（△は益） | — | △3,161 |
| 投資有価証券売却及び評価損益（△は益） | 168 | 63 |
| 会員権評価損 | 8 | — |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △7,394 | 3,045 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △693 | △1,151 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 1,110 | △1,837 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △31 | △112 |
| 前受金の増減額（△は減少） | 778 | 660 |
| その他 | 75 | 75 |
| 小計 | 948 | 6,507 |
| 利息及び配当金の受取額 | 484 | 409 |
| 利息の支払額 | △101 | △146 |
| 法人税等の支払額 | △1,360 | △2,129 |
| 法人税等の還付額 | 8 | 0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △21 | 4,641 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △5,741 | △7,868 |
| 定期預金の払戻による収入 | 4,190 | 6,137 |
| 有価証券の取得による支出 | △101 | △999 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 300 | 501 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,079 | △3,674 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 265 | 31 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △130 | △339 |
| 無形固定資産の売却による収入 | — | 2,813 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △539 | △1,150 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 326 | 31 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,475 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | △6 | △22 |
| 貸付けによる支出 | △3 | △3 |
| 貸付金の回収による収入 | 85 | 123 |
| その他の投資の増減額 (△は増加) | △90 | △88 |
| その他 | △6 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,008 | △4,508 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 399 | △1,328 |
| 長期借入れによる収入 | 396 | 6,146 |
| 長期借入金の返済による支出 | △119 | △173 |
| 社債の償還による支出 | △66 | △2,634 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △130 | △147 |
| 株式の発行による収入 | — | 105 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| 配当金の支払額 | △706 | △652 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △65 | △82 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △292 | 1,232 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △511 | 746 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △7,833 | 2,111 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 24,578 | 16,744 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 16,744 | 18,856 |

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更が当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成のための基礎となる重要な事項)

連結子会社の数 33社

主要な連結子会社の名称

株式会社メイキコウ、東寿興産株式会社、新東エンジニアリング株式会社、新東ブイセラックス株式会社、ハインリッヒワグナーシントーマシーネンファブリークゲーエムベーハー、シントーアメリカインコーポレーテッド、ロバーツシントーコーポレーション、シントーブラジルプロダクトスリミターダ

当連結会計年度において、新たに設立したシントーバラットマニュファクチャリングプライベートリミテッドを連結の範囲に含めております。

なお、上記以外の項目は、最近の有価証券報告書（平成24年6月26日提出）における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「鑄造分野」、「表面処理分野」、「環境分野」、「搬送分野」、「特機分野」の5つを報告セグメントとしております。

「鑄造分野」は、鑄造型装置、鑄物砂処理装置及び鑄造分野部分品等の製造・販売を行っております。「表面処理分野」は、ショットブラストマシン、表面処理分野部分品及び投射材・研磨材等の製造・販売を行っております。「環境分野」は、集塵装置、脱臭装置、水処理装置及び環境分野部分品等の製造・販売を行っております。「搬送分野」は、昇降装置、グラビティコンベア及び搬送システム等の製造・販売を行っております。「特機分野」は、検査・測定装置、サーボシリンダー、ハンドリングロボット、セラミックス製品及び粉粒体処理装置等の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、鑄造事業のグローバル展開を進めるにあたり、鑄物部品の製造が今後の鑄造分野拡大のために重要な要素であるとの観点から、事業体制の見直しを行ったことに伴い、従来は「表面処理分野」に含めておりました耐摩耗鑄物の製造販売事業を、「鑄造分野」へ変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、上記の変更を反映した報告セグメントに基づいて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|------------|----------|----------|----------|--------|--------------|--------|--------------|-----------------------------|
| | 鑄造 分野 | 表面処 理分野 | 環境 分野 | 搬送 分野 | 特機 分野 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 27,037 | 34,188 | 9,162 | 4,667 | 7,927 | 82,983 | 90 | 83,073 | — | 83,073 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 388 | 0 | 320 | 100 | 215 | 1,025 | 2,320 | 3,345 | △3,345 | — |
| 計 | 27,425 | 34,188 | 9,482 | 4,767 | 8,143 | 84,008 | 2,410 | 86,419 | △3,345 | 83,073 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 2,722 | 3,751 | △9 | 86 | △166 | 6,384 | 118 | 6,502 | △1,540 | 4,962 |
| セグメント資産 | 24,098 | 31,223 | 7,693 | 3,508 | 8,489 | 75,014 | 1,749 | 76,764 | 28,313 | 105,077 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 512 | 821 | 157 | 69 | 184 | 1,745 | 20 | 1,765 | 34 | 1,800 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 882 | 595 | 365 | — | — | 1,843 | — | 1,843 | — | 1,843 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 1,167 | 4,376 | 102 | 2 | 387 | 6,036 | 16 | 6,052 | 1 | 6,054 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,540百万円には、セグメント間取引消去84百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△1,624百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門にかかる費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額28,313百万円は、主に親会社での余資運用資金（現金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額34百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却額36百万円、セグメント間未実現利益調整額等△1百万円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額20百万円、セグメント間未実現利益調整額等△19百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------|-----------------|-------------------|--------------|--------------------|--------|--------------|--------|--------------|-----------------------------|
| | Casting 分野 | Surface 処理分野 | Environment 分野 | Moving 分野 | Special 機 分野 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 33,196 | 32,754 | 8,195 | 4,998 | 5,949 | 85,094 | 105 | 85,200 | — | 85,200 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 456 | 0 | 426 | 41 | 162 | 1,086 | 1,917 | 3,004 | △3,004 | — |
| 計 | 33,652 | 32,755 | 8,621 | 5,040 | 6,111 | 86,181 | 2,023 | 88,205 | △3,004 | 85,200 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 2,267 | 3,093 | 90 | 144 | △288 | 5,308 | 107 | 5,415 | △1,602 | 3,813 |
| セグメント資産 | 31,230 | 29,866 | 6,836 | 4,318 | 8,060 | 80,312 | 1,748 | 82,061 | 34,297 | 116,358 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 678 | 1,022 | 152 | 65 | 205 | 2,123 | 16 | 2,140 | 42 | 2,182 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 1,244 | 906 | 391 | — | — | 2,541 | — | 2,541 | — | 2,541 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 1,680 | 1,800 | 285 | 29 | 378 | 4,173 | 129 | 4,303 | 43 | 4,347 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,602百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△1,639百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門にかかる費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額34,297百万円は、主に親会社での余資運用資金（現金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額42百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却額43百万円、セグメント間未実現利益調整額等△1百万円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額43百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額62百万円、セグメント間未実現利益調整額等△18百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | アジア | 北アメリカ | ヨーロッパ | 南アメリカ | 合計 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 49,528 | 11,054 | 7,196 | 5,784 | 5,591 | 3,916 | 83,073 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・スペイン・トルコ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | アジア | アメリカ | ドイツ | ブラジル | 合計 |
|--------|-------|-----|------|-------|-------|--------|
| 12,578 | 2,115 | 301 | 406 | 1,576 | 3,121 | 20,099 |

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

| 日本 | 中国 | アジア | 北アメリカ | ヨーロッパ | 南アメリカ | 合計 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 47,357 | 11,108 | 8,002 | 8,922 | 5,834 | 3,974 | 85,200 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………アセアン諸国・インド・台湾・韓国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・ロシア・トルコ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

| 日本 | 中国 | アジア | アメリカ | ドイツ | ブラジル | 合計 |
|--------|-------|-----|------|-------|-------|--------|
| 13,522 | 2,918 | 649 | 458 | 1,840 | 3,308 | 22,698 |

(受注の状況)

(単位:百万円)

| 区 分 | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | | | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) | | |
|--------|--|---------|--------|--|---------|--------|
| | 受注高 | 構成比 (%) | 受注残高 | 受注高 | 構成比 (%) | 受注残高 |
| 鑄造分野 | 31,634 | 37.5 | 18,782 | 30,352 | 36.4 | 15,938 |
| 表面処理分野 | 32,768 | 38.8 | 4,010 | 32,816 | 39.4 | 4,072 |
| 環境分野 | 8,742 | 10.4 | 1,743 | 8,213 | 9.8 | 1,761 |
| 搬送分野 | 4,559 | 5.4 | 635 | 5,589 | 6.7 | 1,226 |
| 特機分野 | 6,604 | 7.8 | 1,763 | 6,334 | 7.6 | 2,148 |
| その他 | 37 | 0.0 | 36 | 81 | 0.1 | 12,214 |
| 合 計 | 84,347 | 100.0 | 26,972 | 83,388 | 100.0 | 25,160 |

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,208.47円 | 1,368.38円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 52.37円 | 97.10円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (平成25年3月31日) |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 67,385 | 76,648 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 1,772 | 2,355 |
| (うち少数株主持分(百万円)) | (1,772) | (2,355) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 65,612 | 74,293 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株) | 54,293 | 54,292 |

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 当期純利益金額(百万円) | 2,843 | 5,271 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益金額(百万円) | 2,843 | 5,271 |
| 期中平均株式数(千株) | 54,294 | 54,293 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の変動（平成25年6月26日付予定）

役員の変動を次の通り内定いたしました。なお、平成25年6月26日開催予定の第116回定時株主総会及びその後の取締役会において正式決定される予定です。

①新任取締役候補者

たか はし しん じ

高橋 信次 [現 参与 表面処理開発担当（ブラスト/研磨・精密）、研究開発センター担当]

②退任予定取締役

たけ だ ゆう じ ろう

現 代表取締役副会長 武田 祐次郎 [退任後 当社相談役就任予定]